



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ロボット介護機器開発・導入促進事業

平成27年度 事業紹介

(HOSPEX JAPAN 2015 向け)

ロボット介護機器開発・導入促進事業 の概要

- 事業期間：平成25～29年度
- 目的：
高齢者の自立支援，介護者の負担軽減に資するロボット介護機器の開発・導入を促進する。
- 事業内容：
 - **開発補助事業**
経済産業省と厚生労働省が公表する「ロボット技術の介護利用における重点分野」のロボット介護機器の開発・実用化を促進するため、製品化の意思を持つ企業等への開発補助を行う。
 - **基準策定・評価事業**
重点分野のロボット介護機器の実用化に不可欠の実証試験ガイドライン確立のための研究や、共通基盤技術開発や標準化の研究を実施する。
- 重点分野：



移乗介助（装着・非装着）



移動支援（屋外・屋内）



排泄支援

※屋外は26年度で終了



認知症の方の見守り（施設・在宅）

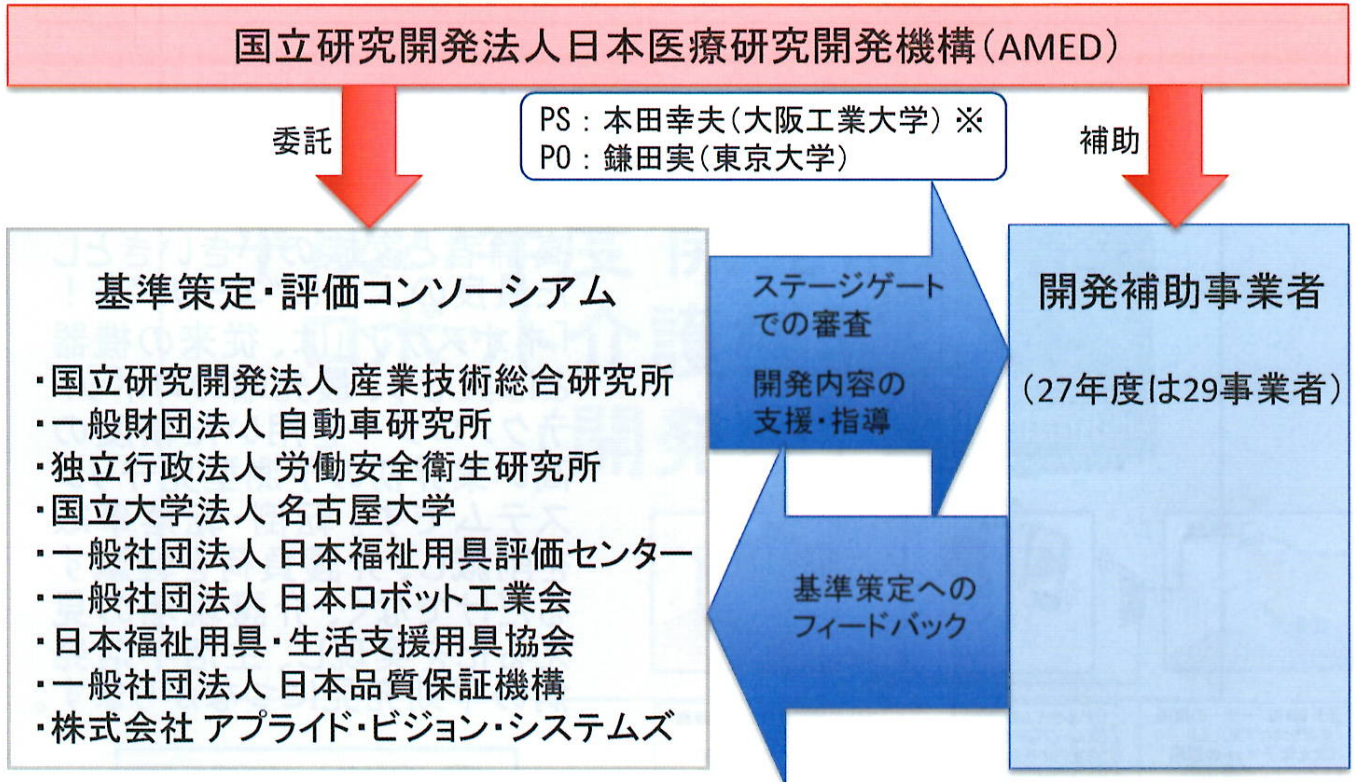


※施設は26年度で終了



入浴支援

• 実施体制



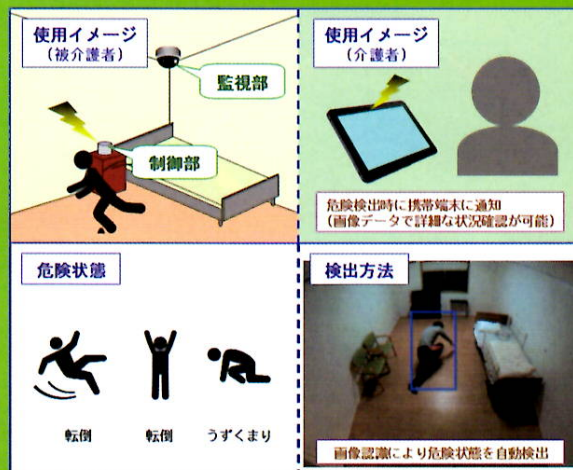
※ PS : プログラム・スーパーバイザー
PO : プログラム・オフィサー

株式会社CQ-Sネット レーダーライト



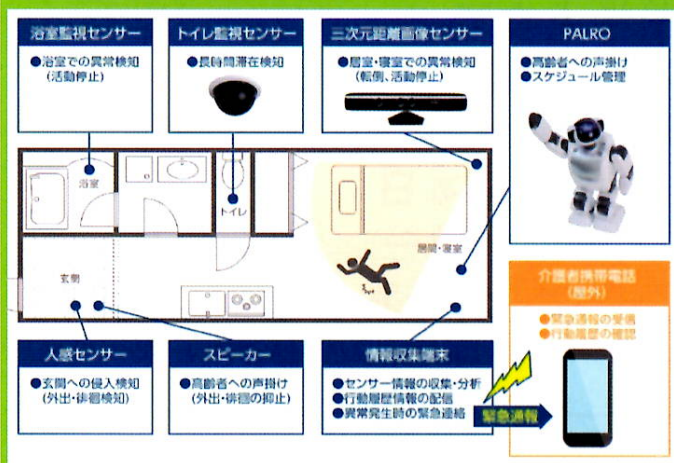
レーダーライトは、レーダー+LED照明+外部への無線通信ユニットで構成されています。ひとり暮らしの方や介護施設等での高齢者等の安心、安全を守り、その支援の方々やスタッフの負担を減らすことを狙い、新規開発レーダー及び高齢者等の状態判別(在室、離床、転倒、呼吸停止)、通報等のソフトウェア製品で構成されています。

株式会社レイトロン カメラ組み込み型画像認識システム を用いた見守りプラットフォーム



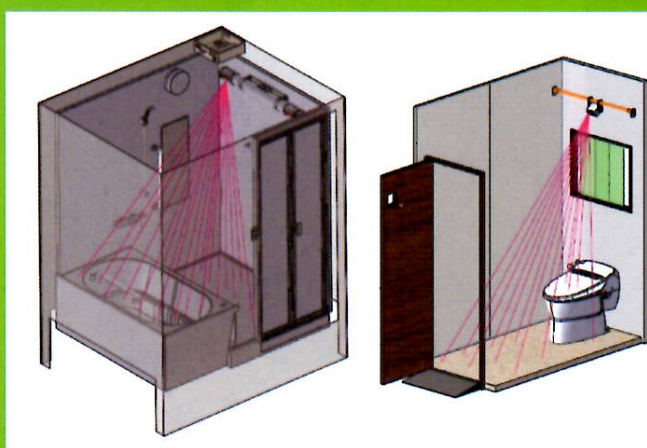
本機器は転倒、転落後の放置による重度化および転倒後症候群による自立度低下を防ぐことを目的とした高齢者見守りシステムです。画像認識を用いた危険状態の検出に加え、介護者や家族が危険検出時の画像を携帯端末で確認できるため、適切かつ効率的な介護が行えます。現在は危険検出性能の向上を目指して開発しています。

富士ソフト株式会社 高齢者見守り支援システム



生活する環境や状況に応じて、居宅内に設置された複数のセンサーが相互に連携し、介護者への行動情報・緊急通報の提供や高齢者への声掛けを行います。高齢者が安心・安全かつ楽しく在宅生活を送れるよう、日々の見守りを支援する事を目的に現在事業化を目指して開発しています。

株式会社イデアクエスト 浴室・トイレ見守りシステム



プライベートな空間である浴室・トイレで発生する危険状態の検出・通報を行う見守りシステムです。赤外線のみをもちいたセンサーで、プライバシーを侵すことなく利用者の動きを検知し、転倒や溺水といった危険な状態を人工知能等をもちいて判断・通報するシステムの実現を目指して開発中です。